

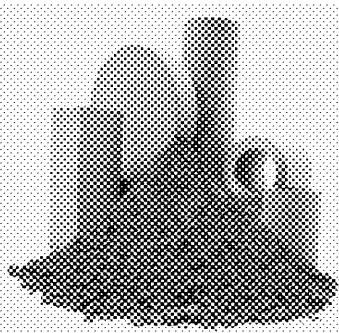
希少金属削減合金を拡販

富士ダイスとダイジエツト

富士ダイスとダイジエツト工業は、レアメタル（希少金属）の使用量を削減した合金の

中国がレアメタルの輸出を規制する中、地政学リスクによる影響を受けにくい合金を拡販し、収益を高める狙い。両社の販売ネットワークを活用して、販路を広げ、超硬合金の代替材料として両社の合金の認知度を上げる。地政学的リスクの低減と収益拡大に

ダイジエツト工業が開発した合金「サーメタル」



よって企業価値向上を目指す。

第1弾としてダイジエツト工業が富士ダイスにタンクステンとコ

バルトを使用しない合金を提供する。富士ダイスはその合金を加工した上で、工具・金型として販売。富士ダイスが製造する合金についても両社の販売ネットワークを活用し、販

路拡大に向けた検討を進める。両社はタンクステンとコバルトの使用量を削減した合金に関する業務提携を検討してきた。取り組むテーマや推進体制について合意

に達したことから、提携を決定。早期のシナジー創出につなげる。富士ダイスはタンクステンとコバルトを従来比で約90%削減した合金「サステロイS TN30」を、ダイジエ

ツト工業はタンクステンとコバルトを含まない合金「サーメタル」をそれぞれ販売している。両社の合金は超硬合金と比べ硬度と耐磨耗性は同程度という。